学校番号	123

平成 31 年度　家庭科

教科	家　庭	科目	家庭基礎	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高等学校　家庭基礎　グローバル＆サスティナビリティ（教育図書）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

〇家庭生活に関心をもち、積極的に取組みましょう

・生活の様々な現象や課題をワークショップや演習等を通して考え、理解を深め知識を身に付けます。友だちの考えを知り、多様な考え方を学び、自分の考えをもちましょう。

・実践的・体験的な学習を通して、科学的な理解に基づいた確かな技術を身に付けます。

・学んだことを自分の生活の問題として捉え、よりよい生活をめざします。

2　学習の到達目標

人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育む。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	人の一生と家族･家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて関心をもち､その充実向上をめざして主体的に取組むとともに、実践的な態度を身に付けている。	人の一生と家族･家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて生活の充実向上を図るための課題を見いだし､その解決をめざして思考を深め､適切に判断し､工夫し創造する能力を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び福祉､衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。
評価方法	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 調理計画、製作計画、実習記録表 レポート、発表 自己評価	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 調理計画、製作計画、実習記録表 レポート、発表 定期考査の結果 自己評価・相互評価	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 写真、製作品 観察記録表 レポート、発表 定期考査、実技テストの結果 自己評価・相互評価	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 調理計画､製作計画、実習記録表 観察記録表 レポート、発表 定期考査の結果

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	青年期の自立と家族	○家庭基礎の学び方 ・ホームプロジェクトと 学校家庭クラブ活動 ＊ペア・トーク ○人の一生を考えてみよう ＊ライフコースを描く ○生涯発達とライフステージ ・生涯発達の視点 ○青年期を生きる ・アイデンティティの確立 ○意思決定の重要性と共生 ・ライフイベント ○現代の家族 ○家庭生活の成り立ち ○家族と社会	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○	a:青年期の生き方について関心を持ち、意欲的に学習に取組もうとしている。 b:青年期にある自分を見つめ、課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。 c:事例研究などを通して、青年期の生き方について検討する技術を身に付けている。 d:青年期の課題について理解し、人の一生を自分の問題として捉えるための知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート 定期考査
	子どもの発達と保育	○子どもの発達を学ぶ ・子どもの心身の発達 ・DVD視聴 ＊新生児模型 ○子どもの生活を知る ・子どもの遊び ＊伝承遊び(折り紙) ＊絵本読み聞かせ ・子どもの生活と生活習慣 ＊離乳食実習 ○子どもと育ち合う ＊親学習 ○社会が子どもを育てる ・子どもの権利や福祉	○ ○	○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○	a:子どもの発達と保育について関心を持ち、実践的・体験的な活動を通して意欲的に学習に取組もうとしている。 b:子どもの発達と保育について、家族や地域の生活を見つめて課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。 c:子どもと適切に関わることができたり、子どもの健やかな発達を支える技術を身に付けている。 d: 子どもの発達と保育について理解し、家族・地域・社会の果たす役割を認識するために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート レポート 発表 定期考査

1 学 期	高齢者の生活	○超高齢社会を生きる ・高齢社会の現状 ○高齢期の心身の特徴 と暮らし ・高齢者の心身の特徴 ＊インスタントシニア体験 ・高齢者の暮らし ○高齢期の暮らし を支える仕組み ・高齢期の経済を支える 制度 ・高齢者介護 と介護保険制度	○ ○	○ ○	○	○ ○ ○	a:高齢者の生活について関心を持ち、実践的・体験的な活動を通して意欲的に学習に取組もうとしている。 b:高齢者の生活について、家族や地域の生活を見つめて課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。 c:高齢者と適切に関わることができ、高齢者の自立生活を支える技術を身に付けている。 d:高齢者の生活について理解し、家族・地域・社会の果たす役割を認識するために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ﾜｰｸｼｰﾄ ﾚﾎﾟｰﾄ 発表 定期考査
		○ホームプロジェクト と学校家庭クラブ活動 ＊自由テーマ 調査研究、個人発表	○	○	○	○	a:ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動について関心をもち、主体的に学習に取組もうとしている。 b:生活上の課題を見いだし、その解決をめざして科学的に探究し、表現している。 c:計画に沿ってホームプロジェクトや学校家庭クラブ活動を実践することができる。 d:ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動の実践に必要な知識を身に付けている。	ﾚﾎﾟｰﾄ 発表 自己評価 相互評価
2 学 期	共生社会実現のために	○ともに生き、支えあう社会 ・自助、共助、公助 ・社会保障制度 ○共生社会の理念 ・自己実現と社会参加 ・ノーマライゼーション ・地域福祉 ・ボランティア活動とNPO ＊ポスター発表	○ ○	○	○	○ ○	a:共生社会と福祉について家庭や社会の一員として関心を持ち、意欲的に学習に取組もうとしている。 b:共生社会を成立させるための課題を見いだし、その解決をめざし社会の一員として何ができるか考え、工夫している。 c:地域で行われているコミュニティ活動や NPO 活動などについて、情報を収集・整理したり、参加したりする技術を身に付けている。 d:共生社会と福祉について理解し、生涯を通して家族・家庭の生活を支える福祉や社会的な支援が果たす役割を認識するための知識を身に付けている。	授業観察 ﾜｰｸｼｰﾄ ﾚﾎﾟｰﾄ ﾎﾟｽﾀｰ 発表 定期考査

2学期	食生活と自立	○人が食べるということ ・食べること＝生きること ・食文化（日本型食生活） ○栄養と食品 ・5大栄養素 ○食品の選択と取り扱い ・生鮮食品、加工食品 ・食品の衛生と安全 ○献立の作成 ○調理の基礎 ＊調理実習2回 （10～12月）	○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○	○ ○ ○ ○ ○	a:食事と健康、安全と環境に配慮した食生活、ライフスタイルと環境に関心をもち、意欲的に学習に取組もうとしている。 b:食事と健康、安全と環境に配慮した食生活について、課題を見いだし、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。 c:生涯を通して健康で安全かつ環境に配慮した食生活を営むために必要な栄養、食品、調理、食品衛生等の技術を日常食の調理実習を通して身に付けている。 d:栄養、食品、調理、食品衛生、ライフスタイルと環境などについて実験・実習を中心とした学習を通して科学的に理解し、健康で安全な食生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート 写真 実習レポート 定期考査
	衣生活と自立	○衣生活を管理する ・衣服の成り立ち ○衣服を着る ・着ることの意味 ・衣服気候 ○衣服の成り立ち ・衣服の素材 ＊三原組織を折る ○衣服と消費者 ・家庭用品品質表示法 ○衣服の手入れ ・家庭洗濯と商業洗濯 ○着なくなった衣服の処分 ・衣服の3R	○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ 	a:被服管理と着装、健康で快適な衣生活、ライフスタイルと環境に関心をもち、意欲的に学習に取組もうとしている。 b:被服管理と着装、健康で快適な衣生活などについて、課題を見いだし、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。 c:生涯を通して健康で快適な衣生活を営むために必要な被服計画、被服整理などの技術を身に付けている。 d:被服の機能と着装、被服材料、被服の構成、被服管理などについて科学的に理解し、健康で快適な衣生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート 写真 実習レポート 定期考査
	ホームプロジェクト	○ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動 ＊お正月を科学する 調査研究、個人発表	○	○	○	○	a:ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動について関心をもち、主体的に学習に取組もうとしている。 b:生活上の課題を見いだし、その解決をめざして科学的に探究し、表現している。 c:計画に沿ってホームプロジェクトや学校家庭クラブ活動を実践することができる。 d:ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動の実践に必要な知識を身に付けている。	レポート 発表 自己評価 相互評価

3学期	住生活と自立	○住まいをみつめる ・日本の気候風土 ・食寝分離と就寝分離 ○安全で健康な住まい ・自然災害への対策 ＊防災ワークショップ ○これからの住生活と住環境 ・バリアフリー	○ ○ ○	 ○	○ ○	○ ○ ○	a:住居と住環境、安全で環境に配慮した住生活に関心を持ち、意欲的に学習に取組もうとしている。 b:住居と家族の生活、安全で環境に配慮した住生活について課題を見いだし、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。 c:安全で快適、かつ健康な住生活を営むために、住居の計画や選択に必要な情報を収集・整理する技術を身に付けている。 d:住居の機能、住環境などについて科学的に理解し、安全で快適、かつ健康な住生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート レポート 発表 自己評価 相互評価
	消費生活と経済・ライフスタイルと環境	○経済的な自立を目指して ○消費者の意思決定 ○消費者問題の発生 と消費者の権利 ・悪質商法 とクーリングオフ制度 ＊指示遂行テスト ○消費者市民社会の 実現に向けて	○ ○ ○	 ○ ○	○ ○	○ ○ ○	a:消費生活と生涯を見通した経済の計画・管理、生活設計について関心を持ち、意欲的に学習に取組もうとしている。 b:消費生活と生涯を見通した経済の計画・管理、生活設計について、考え、工夫している。 c:消費生活と生涯を見通した経済の計画・管理、生活設計を立案するための技術を身に付けている。 d:現在及び将来の消費生活と経済の計画・管理、生活設計のために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート レポート 発表 自己評価 相互評価

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解

※　＊は、ワークショップ、実習・実験など実践的・体験的な学習活動や問題解決的な学習活動を示している。

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。